

令和6年 6月21日
北陸地方整備局

千曲川覆土変状要因調査検討委員会を設立します

千曲川では、令和元年東日本台風による水害を受け、河川堤防の強化を実施中ですが、桜づつみの再整備を行った箇所等の盛土が、降雨によって変状や崩落等の事象が発生しています。堤防としての機能に問題はありますが、応急対策した箇所が再び変状するなど抜本的な課題解決に至っていません。

そこで、学識者からなる検討委員会を設置し、技術的助言を頂きながら対策を進めていくこととして、新たに検討委員会を設置するものです。

千曲川では、令和元年東日本台風による水害を受け、現在、狭窄部の影響を受ける立ヶ花狭窄部から村山橋間の左右岸計約16kmで河川堤防の強化を実施中ですが、桜づつみの盛土が、降雨によって変状や崩落、植生の流出が発生し、一部では堤内地へ土砂が流出するなど、地域活動への影響が懸念されています。また、桜づつみを再整備した箇所以外でもコンクリートブロック上の覆土で同様の事象が発生しています。

堤防としての機能に問題はありますが、これまで、変状等が発生した箇所について、応急対策した箇所が再び変状するなど抜本的な課題解決に至っていません。また、現状では変状等は生じてなくとも同様に変状等の恐れがある区間について予防保全的に応急対策を講じたものの、対策区間以外の箇所で新たに変状等が生じています。

現在、施工中の箇所もあることから変状等について、その原因やメカニズムを把握し、想定される変状等の影響度に応じた対応、対策工法の検討が必要と考えられます。

そこで、学識者からなる検討委員会を設置し、技術的助言を頂きながら対策を進めていくこととして、「千曲川覆土変状要因調査検討委員会」を設置するものです。

委員については、別紙のとおりです。

記

1. 開催日時 : 令和6年6月25日(火) 11:00~12:00(予定)
2. 開催場所 : 新潟会場: 北陸地方整備局4F 会議室
長野会場: 千曲川河川事務所 会議室
3. 議事内容 : ①委員会の設置について
②千曲川覆土変状状況及び応急対応について
③今後の予定について 等

4. その他

- ・各委員とはWeb会議で行い、会議の内容は新潟会場または長野会場で傍聴可能です。
- ・取材を希望される方は、6月24日(月) 16:00までに、下記のアドレスにメールでご連絡ください。

送付先: matsumoto-t8483@mlit.go.jp

※氏名(ふりがな)、所属、連絡先(電話番号)をメール本文に記載してください

《同時発表記者クラブ》
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
長野市政記者クラブ
長野県庁会見場

《問い合わせ先》
国土交通省 北陸地方整備局 河川部
河川工事課長 本田 (内線: 3711)
代表: 025-280-8880 直通: 025-280-8965

千曲川覆土変状要因調査検討委員会
委員名簿

区分	氏名	機関名	所属	役職
委員長	大塚 悟	長岡技術科学大学	環境社会基盤系	教授
委員	石原 雅規	国立研究開発法人 土木研究所	地質・地盤研究グループ	上席研究員
委員	岡村 未対	愛媛大学	大学院理工学研究科	教授
委員	瀬崎 智之	国土交通省 国土技術政策総合研究所	河川研究部 河川研究室	室長
委員	森 啓年	山口大学	工学部社会建設工学科	准教授
委員	吉谷 純一	信州大学	工学部水環境・土木工学科	教授

(委員50音順、敬称略)